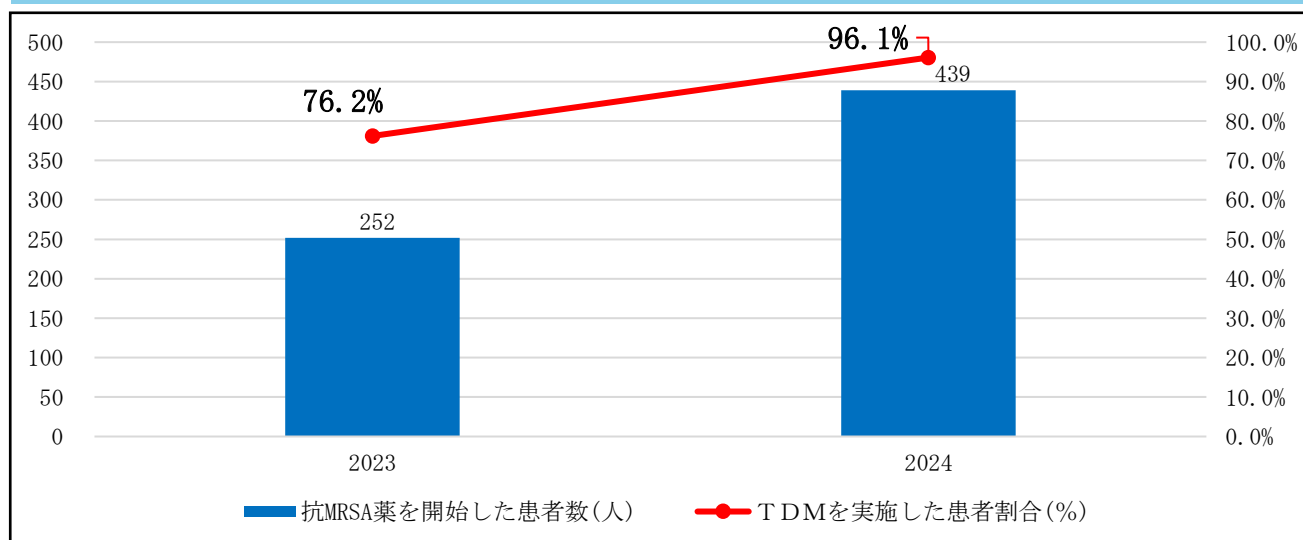


□感染管理

抗 MRSA 薬投与に対して、 薬物血中濃度モニタリングを実施した症例割合



➤ 指標の説明

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(MRSA)に対して抗 MRSA 薬を使用する場合、有効血中濃度の維持、副作用の抑制、耐性菌の出現を回避するため、治療薬物の血中濃度測定とモニタリング(薬物血中濃度モニタリング; TDM)が重要です。この指標が高い程、患者の薬物血中濃度を精密に管理し、有効性と安全性のバランスを取ながら抗 MRSA 治療を行っていることを示します。

➤ 定義

分子：分母のうち、TDM を実施した患者数

分母：TDM を行うべき抗 MRSA 薬を投与された患者数

➤ 評価

本指標はより高い数値が望ましいとされています。当院では2023年から指標を作成しておりますが、2023年76.2%から2024年は96.1%へ大幅に上昇し、高い数値となっております。